

キツネ・キツ・ヨルノトノ

第2回 佐藤 晴美

なぜ
こんな感覚に
なっちまったのか





どこかで
聞いた
話

だれかの思いを
詰め込んだだけの
文字



ざらざら
かわいた音





ぴよーい

ぴよーい

ぴよーい

ぴよーい

ぴよーい

だあれも
気が
つかない

A



キツネ・キツ・ヨルノトノ

キツネ・キツ・ヨルノトノ
ケオン ケオン
ナキナサル

現実の音以外の
音が
心の底で響いた

ナニガ悲シユテ
ナキナサル

ナニガ恋シユテ
ナキナサル

少しずつ
少しずつ
大切なものを
思い出せそう

つづく



第3回神戸ベストドレ
ッサーズ大賞決定！
さる3月24・25日、さ
んプラザ・センションプラ
ザ3Fのファッションパ
ーク広場で第3回神戸ベ
ストドレックス大賞の
選考が行われた。過去の
受賞者が、モデルやDJ
として活躍していることあ
って、今回は15才〜42才
までの約300名が応募
最終選考に残った30名
で、ピンクの着こなしを
競った。

応募者の約7割が大賞
から、という中で、大賞
は神戸生まれ神戸育ちの
三木陽子さん（17才高
3年）に決定した。

第1位／三木 陽子（17才・神戸市）
第2位／大久保 恵子（20才・堺市）
第3位／フアッシュンパーク賞、古本美保子（22才・姫路市）
特別賞／小西 芳子（34才・泉大津市）



大久保恵子



三木 陽子



小西 芳子



古本美保子

PEOPLE <20>



●流行プラス感性で自分なりの個性を
川崎加寿夫さん <婦人服飾ベニヤ・エルベ店店長>

ファッションに興味をもって、ベニヤに入社して10年。2年前からエルベの店長に。スポーティーなものやトレンドなものが中心の商品構成。ミューグレー、ラネロッシ、H・L、などがよく出ている。「やはり今年はマリナーやミリタリーっぽいものが流行しそうですね。洗練されたものを自分なりに工夫して着てほしい」と、川崎さん。笑顔の素敵な好青年だ。

TOPICS

●神戸国際会館1Fのベニイ毛皮店から、毛皮情報紙「おしゃべりミンク」を創刊。毛皮に關することだけでなく、お店の紹介やちょっとしたエッセイ、新しい情報など充実した内容。今後、隔月で発行される予定。読者からの楽しい原稿も募集中。詳しくは、ベニイ毛皮店まで。

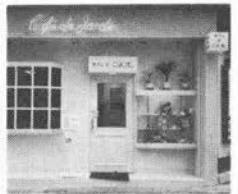
●センター街・中川衣装店の婚礼衣装の展示会は5月27日10時〜17時まで舞子ビラで行われます。

●大丸前・みよしの「秋も」の・第1回内見会」は、5月19日・20日、京都・洛北・愛媛で行われます。詳しくはみよしや 営（333）333

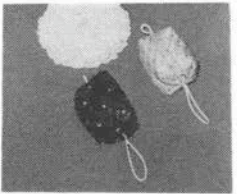
●ファミリア北野坂ハウスでは、子供の日にちなんで、5月2日〜6日まで、庭にミニSLを走らせます。子供の頃の夢がよみがえりそう。また、新館をオープンしてのワゴンセールも行われます。詳しくは、ファミリア北野坂ハウス 営（222）3535。

●センタープラザ3Fのリザサロン神戸本店で、3月24日コルディア忠のフロアショーを開催。初夏に向けてのとても爽やかなショーだった。

●大丸前・つるや衣装店では7月1日・神戸ポリアホテル備菜の間で婚礼衣装の展示会を開きます。詳しくは、つるや衣装店 営（321）0360まで



●カフェ・ド・ジャルダンからコスメニューセットを3月1日にリフレッシュオープンした神戸・楠公前のカフェ・ド・ジャルダンより、スープからデザート、ドリンクに至るまですべて自分で選んで組み合わせることのできるコースメニュー（¥1,980）を5名様にプレゼント。



●ブティック・サンミヨシヤから小物を大丸前のブティック・サンミヨシヤから、うすいパープルでレース使いのかわいいランジェリーケースを1名様に。ちょっとしたものを入れるのに便利なポーチを2名様にプレゼント。

PRESENT CORNER

●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町11-1大神ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係まで応募下さい。5月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を送る、葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

ポケット ジャーナル



★文学の香り高い須磨に

また新名所が誕生

江戸の俳人、与謝蕪村の名前は知らなくても、「春の海、ひねもすのたりのたりにかな」の句は小学生にも馴染み深い。この名句、実は、須磨の海をうたったも



須磨の海が見える蕪村の句碑
(速水史朗・作)

のだということはありません。この事実を発見したのは、須磨寺塔頭正覚院副住職の三浦真巖さんだが、神戸市などの協力をえて、3月30日、念願の句碑が須磨浦公園内展望台に建立された。

また、4月7日には昨年実現した山本周五郎文学碑の除幕式が行なわれ、多くの人々がお祝いに駆けつけ

た。

源氏物語の時代から語りつがれる文学の香り高い須磨の地に新名所が生まれたことは神戸市民にとっても嬉しい限りだ。

★「科学する心」を育てる

市立青少年科学館が開館
ゴールデンウィークの幕開けの4月29日、かねてからポートアイランドで建設が進められていた神戸市立青少年科学館が開館した。同館は「人間を通して理解する科学技術」をテーマに、青少年が科学技術についての認識を深め、「科学する心」を育むことを目的として設立された。

1階は「力」としくみの科



飛行機の実物大模型も展示

学「物質とエネルギーの科学」のフロア
2階は「情報

の科学」のフロア、そして3階は、5分間で一回転する直径4米の地球儀のある「環境の科学」のフロア。同館の西には直径20米の大ドームをもつプラネタリウム館が隣接している。

□開館/午前9時30分/午後4時30分
休館/毎週水曜日 電話307-5177

★竹中大道具館7月開館

収蔵品は何と1万点



竹中大道具館
記念事業として創立
業として創
立ち
ゆかり
の地神

戸に大工道具の資料館を創設する。地上3階、地下1階、延面積900㎡の同館には日本の長い木造建築の歴史を築いてきた工匠の心と技の結晶である大工道具約9千点、関連資料千点が収蔵される。また実際にその道具がどう使われていたかという無形の技術を伝えるため、ビデオコーナーも設けている。昔は大工たるもの、最低170点の道具を必要としていたらしい。その道具も鍛冶と大工がお互いに技術を競い合うなかから多種多様なものが生まれた。しかし機械化の波とともにそれらの大工道具も消滅しつつある。世界にも余り類

誕生日 ありがとう

運動

高校生で参加し 今は娘たちが

本運動は、この五月で発足以来満十九年を迎えます。運動を長くやっていると、この手紙のように親子二代でご参加いただく方も多



いのです。ほんとうに久しぶりに誕生日ありがとう運動に献金します。まだ高校生だった頃に参加し、明石の杉の子会ボランティアグループにも加わっていました。社会人になつてから、何かこういふ運動にかかわることが少なくなり、意識が遠のいていました。母親になった時に思い出してはいたのですが、送金する手間がめんどうで、とうとう今日になりました。長女も元気に五才になりました。次女も、もうすぐ2才です。少しですが合わせて献金いたします。

ボランティアのみなさんお元気でしょうか。この運動も、もう十九年ですか。わたしが、参加させていたいただいたのも高校二年生だった十年以上も前です。福祉・福祉と呼ばれた時代もあったのに何だかききな時代になってきましたね。

久しぶりに、この運動にかかわることができて、若かった頃を思い出しながら心を洗われました。本部ボランティアのみなさん、これからも、ちえおくれの人々の福祉向上のために、着実な啓発活動をごつと積み重ねてください。(神戸市垂水区 主婦)

誕生日ありがとう運動本部

651神戸市中央区御幸通八十一番六
神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話二五一八一六一 内線三二六

を見ない貴重な資料館の誕生である。

■竹中大工道具館／神戸市中央区
中山手通4-18-25番(242)
0216 7月1日開館

★第4回パールプリンセス
ただいま募集中

パールプリンセス―日本が世界に誇る真珠の振興のため、



風景 欧米などへの真珠のPRや国際親善のPRや国内の真珠キヤン

ペーンに活躍する女性3名の募集要項が決定。

応募資格／満18歳以上の真珠の似合う明朗な未婚女性(外国語の話せる人、外国人国籍の方歓迎)
申し込み方法／所定の申し込み用紙か履歴書に住所、氏名、年齢、勤務先又は学校名と身長、体重、B、W、H、趣味、特技、家族構成明記、正面上半身と全身の写真(手札サイズを添えて応募)
締切／5月10日(木) 必着
申し込み先／神戸市中央区東町127
日本真珠会館内(社)日本真珠振興会
パールプリンセス実行委員会(3
31) 40331

★「元町をどやしつける」
パネルデイスカッション

元町は10年の伝統があるがそれを守ろうとするパネルデイスカッションが、5月2日(水)午後2時より2時間におわたり、神戸風月堂ホールで開かれる。出席者は我こそは元町ファンと自他共に認める嶋田勝次

(神戸大助教授) 服部 正
(評論家) 陳 舜臣(作家)

尤 昭福(神戸青年会議所理事長) 氏ら4名。元町への不満を洗いざらいぶちまけようとする会だけに白熱した意見交換が展開されよう。(入場料五百円)

★勇壮、豪快、住吉神社の
だんじり祭り

住吉神社の例祭は「灘のだんじり祭」として広く知られ、毎年、5月5日に行なわれている。だんじりは7基出され、順次「シャントセー」を演じる。それは拝殿正面にだんじり正面をむけ、曳き手の三分の一が後方へ乗って、残りの曳き手でだんじりを3回高くあげおろし、神社に拝礼したのち、前輪を浮かしたまま3回右回りに回す儀式。



も勇壮なシャントセーもある住吉だんじり祭り

このシャントセーで祭りはクライマックスに達する。

★永沢まことニューヨーク
ニューヨーク展

ニューヨークを舞台にペンを握りスケッチを描き続ける永沢まことこの個展が5月

3日より7日間、そごう神戸店、6階美術画廊で開かれる。グリニッチ・ビレッジの街角、ブロードウェイなどの最もNOWい姿を永沢さん独特のタッチで見せてくれる。また、地下鉄の乗客たちを描いた作品も出展されるとあっては見のがせない。永沢さんオリジナルデザインのコのキヤラクター商品も販売され、スクエアタイムズ・スクエアというおまけつき。今年



風景 商品も販売され、スクエアタイムズ・スクエアというおまけつき。今年

Wは、ニューヨーク気分を決めてみたいものだ。

★ベニアー
フェスティバル

国際会館1F・ベニアー毛皮店カジュアルファァーサロンが、フリースペースとしてギヤラリーに変身。期間は、5月1日(火)から31日(木)まで。

「毛皮のシーズンオフと店の空間を利用して、お客様に少しでも芸術的なものとふれあっていただけたいな」と思っただけなら

いいな、と企画室長の大島智恵さん。

今回は、ジャンルの違う

図書ガイド



「三枝の熱闘ひとり会」
桂 三枝著

テレビ、舞台上大活躍の人気タレント、桂三枝が、多忙なスケジュールの合間をぬって、三本の古典落語を中心に、落語、笑い、人生について、書きためていたものを、まとめたもの。
ユーモアあふれる、三枝独特の語り口で読みやすく、斬家三枝の笑いの秘密を知る上では格好のさわやかな一冊。読者に5冊贈呈。
A P H P 研究所刊 980円V



「上方笑芸の世界」
上方の笑芸界をこよなく愛する古川嘉一郎、橋本正樹、林信夫、加納健男氏ら作家兼批評家の彼らが、時に厳しく時に優しく芸を斬ったり賞めたり。また桂枝雀・上岡龍太郎、島田紳介・上田正樹の対談なども読み応えがある。漫才ブームが去った後の状況を判断するに格好の同書である。それにしても落語家林家小楽の死がえすのがえすも残念だ。読者に5冊贈呈
(白水社 ¥1200)



「どろいんがいど、ちくさ川」
上郡民報社

県下一の清流千種川。その周辺には自然に開かれた農村が点在する。中世の赤松氏史蹟や寺社、うまいもの店、レジャー施設などを詳しく紹介している。これからは、森林浴に最適な季節。この本を片手に観光化されていない山野を散策してはいかが。(¥400)



兵庫県産但馬牝牛
神戸肉登録指定店
 神戸ビーフブランド指定記念のご案内

この度、あぶり肉工房和黒は世
 ブランドの充実・強化をはかる目
 戸肉流通推進協議会”より満場一
 を受理致しました。登録指定店と
 の品質向上と発展をめざす所存で
 これを機会により一層お客様に
 と御礼の気持ちをこめて記念特別メ
 是非 この機会にお出掛け下さい



神戸市中央区中山手通1
 丁目22-13
 ヒルサイドテラス1F
 ☎(078)222-0678 無休

界的に名声高い“神戸ビーフ”
 的として発足いたしました“神
 致で会員指定を推薦され、これ
 して、更に厳しく“神戸ビーフ”
 ございます。
 愛される“あぶり肉工房和黒”へ
 ニューを企画致しました。
 ますよう御案内申し上げます。

記念特別メニュー 期間 5月21日～31日 料金 ¥8,000(税別) サービス料なし
 料理 神戸ビーフコース グラスワイン・前菜1品・スープ・肉
 (ロース)・パン又はライス・デザート・コーヒー

芸術は自らの女神を 仰ぎ見るようなもの

伯爵 神山宏 VS 多田智満子〈詩人〉



「ハングリーな状態から芸術が生れるとは思えないんです」 神山伯爵

ないという考えに到達してね。
多田 貴族主義を標榜しておられるわけですね。

神山 と言うか、僕は芸術というものは自らの女神を仰ぎ見るようなものだと思っているんです。要するにカエサルのはカエサルに返せ、というわけなんです。それに伯爵は字面と響きにもっとも品格がありますから。

多田 公爵でも子爵でもいけない？

神山 僕が伯爵なんて名乗っているものだから、皆から、かつてフランスに行つたように思われているんです。ソルボンヌを出たと言つても本気にされるんですよ。そういう雰囲気伯爵の伯爵たる所以なんですよね（笑）。

多田 何となく分ります（笑）。ところで神山さんの出しておられる「世紀末研究」という雑誌ですが、あれはいつ頃始められたのですか。

神山 4年くらい前に自分で作り始めましてね。当時は

世紀末イコールデカダンス、ではない

多田 神山さんは、日本でおそらくただお一人、伯爵と名乗っておられますが、何か特別な理由でも？

神山 別に深い意味はないんです（笑）。ただ自分で文学や芸術に首を突っ込んでるうちに、大衆芸術はありえ



「芸術を俗象から離れた所に奉りたいわけですね」 多田さん

神山 そういえばロセッティーなどのラファエル前派も最初は中世志向でしたね。僕は世紀末について余りどう言う気はしないんですが、敢えて言うなら、世紀末の典型的作家はオスカー・ワイルドでしょうね。「ドリアン・グレイの肖像」は1890年に発表さ

まだ知人や友人にも19世紀末あたりの文学や芸術ややってる人がいなくてね、1号、2号と雑誌作ってる間に詩人の鈴木漢さんやエッセイストの堀江珠喜さんらが興味を持ちはじめられて、だんだん人が集まってくるようになった。世紀末の研究してる人って、大学の主要な学問のルートを外れた人が多いですよ。だからつきあっていくと面白いですよ。とはいえ、大学の人はまず言葉に対して鈍感で、まともな文章をものにする人はまずいないですね。語学のエキスパート≡外国文学者、となってる。ところが大学の不毛があるわけで、もし文章の国家試験があるとすれば、大学の先生の99%は落第でしょう。多田 ところで、この頃世間ではやたら世紀末って騒いでいますけれど。

神山 僕が雑誌出してからかな？ こんな現象(笑)。
多田 いわゆる世紀末っていうのは19世紀末に限られるんじゃないか。

神山 そうでしょうね。余り18世紀末などは指しませんね。僕が世紀末に興味を持ち始めたのは、学生時代、小

林秀雄を読んだら、ウォルター・ペイターの方が書いてあった。それからペイターの本を苦勞して探しては、買いこんできて読んでいた。

多田 「想像の肖像」とか「ルネサンス」とか？

神山 そうそう。彼のロマンティズムについてのエッセイなんて、翻訳したらまるでこれは小林秀雄じゃないかノって思いながら読んでいたり。でもペイターを読みこなせる人はほとんどいないと思いますよ。田部重治という人が彼について単行本を出していますが、残念ながら文学的価値は認められないですね。あと好きなのはアーサー・シモンズ。シモンズのペイター論は確かに正鵠を射ていますね。シモンズも読後感が小林と共通している。

多田 私は同じシモンズでもジョン・アディントン・シモンズが好きでね、彼はペイターが「ルネサンス」書いた翌年の1874年に「イタリア文芸復興史」というすごい本を出しているの。その2年前にはニーチェも「悲劇の誕生」というギリシャ悲劇についての本を書いている。

政治的には社会主義や共産主義が確立していく中で、古代ギリシャや古典古代の復活であるルネサンスを回顧する名著が次々に出たのも世紀末の一つの面白い特徴かもしれませぬ。だから正確には世紀末即ちデカダンス、ではないですよ。

神山 そういえばロセッティーな

れはじめ、ワイルドの死が1900年ですから、时期的にはピッタリですね。ペイターは世紀末の作家でも禁欲的なカチカチの倫理主義者でしょ。なのに自分で芸術至上主義者のような顔をしている、そこが面白いですね。

多田 カチカチかどうか問題ですけど「快樂主義者マリウス」なんて小説読んでも、あれはたいへんストイックなエビキュリアンですよ。ワイルドは喜劇が面白いですね。

神山 あれは傑作ですね。でも彼は芸術に関係ない所で話題になっているようです。大学の先生が例えば「ドリアン・グレイ：」を論じるなんて滑稽です。そんな先生は信用できないですね。結婚詐欺を生業にしている方が女神の微笑みに与かれますよ。



芸術を生み出す人は絶壁から落ちるような人

神山 僕は、精薄児が生まれる確率が何%ってあるように、芸術に近づける人間が生まれる確率も何%かある、と思うんですよ。

多田 選ばれた人がいるってことですか？

神山 ええ、持って生まれたものとか育ちとか、そういうものがあると思うんです。

多田 素質と環境ね。

神山 僕はそういうものを持つてる人は、どんどん前面に出せばいいと思うんですよ。皆、そういうの遠慮して出さないけれど、芸術を生み出すような人って、やっぱり絶壁から落ちるような人なんです。

多田 でしょうか？ まあ全ての人に分つてもらおうなんて思つてたら何も生まれてきません。一億の人全てに分つてもらおうなんて思つてたら詩なんか書けませんもの。

神山 ええ。だから芸術って、自分のつくりあげた女神をどこまで信仰できるかっていう持続力の問題です。

多田 女神とはまた古代的な言い方で。古代は女神なしに芸術はありえなかったでしょ。詩人のホメロスもヘシオドスも、まず「女神よ我に語り聞かせたまへ」と呼びかけてから歌いはじめた。詩人は女神の口であり舌であったわけですよ。

神山 なるほど。僕はカントの道徳哲学の「至上命令」の発想が好きだな。でも僕がこうして言つてることって別に目新しいものでも何でもありません。今の時代にこんなこと言うともまるで妙なことも言つてみるみたいに思われるんですけど。

多田 当り前のことをまともに言う人がいないから。

神山 当り前だから言わなくていいと皆思つてる。要するに何も解つて

いないんですよ。

多田 予言者って当り前のことを繰り返し言うものですよ。ね。いつの時代にも、バカにされながら、ね。

神山 当り前のことって思考の上で展開していくものではないですからね。才覚ばかりが目立って、魂が忘れられている。今の時代は妙な正義感みたいなものがびこっていて、言いたいことが言えない、なんて状況ですよ。だから余計に芸術的素質のある人は自己主張すべきです。

19世紀末すでに同性愛は日常的だった

多田 19世紀末は産業革命の結果、機械文明が飛躍的に進歩した時期でしょ。一方、文学上ではデカダンスをの

りこえようとして古代への関心が強まっていく。そんな中でイギリスのサミュエル・バトラーが1872年に「エレホン」というユートピア小説を書いているんです。エレホンというのは「No where」の逆さ読みで、つまり「どこでもない」、という名のユートピア国なんです。そこで機械文明が行き詰まり、人間がダメになっていくという指摘がされています。だから文明の利器を一切使わないで、昔の素朴な時代に還った「どこでもない」国を造ったわけ。ところで今や20世紀で、テクノロジーが19世紀末とは比較にならないほど進んでしまい、人類全体が文明の産物のためにいつ滅んでしまうかもしれないという深刻な「末世」の時期でしょう。100年単位の「世紀」というのはヨーロッパの考え方で、日本には昔から



という小説を翻訳したんですが、主人公が少年の頃の家庭環境が実にカタイの。家庭教師が彼に古代の裸体の彫像を見せに連れていくだけで父親がカンカンに怒るの。神山 当時はそれで当たり前だったんでしょうね。多田 それで、その家庭教師は同性愛者だし、主人公も後にホモになって、そのことでも悩むんです。同性愛について強烈な罪の意識があるんですね。そういう風俗的な理由でワイルドが投獄されたなんて、今じゃ考えられないことですよね。

神山 そのホモの概念は、もとはフランスのもので、イギリスには11世紀、フランスに征服されてから入ってきた。

多田 大体、地中海的な風俗でしょう。

神山 でも世紀末にはね、ホモって余り表だって現われてないんですよ。それくらい日常的だったのかもありませんね。ライオネル・ジョンソンなんてホモサークルを率いていました。

多田 ジョン・アディントン・シモンズを読んでホモになった人もずいぶんいたとかいう話。

正法千年、像法千年、末法千年という考え方がありました。千年刻みで世の中デカダンスが進むというわけ。お釈迦様が出てから今は2千数百年経って、まさに末法の世も終りに近づきつつあるんでしょう。

神山 たしかに1世紀という100年のサイクルは消えてしまいましたね。ところで、ヨーロッパでいわゆる世紀末って騒いでいたのはイギリスだけみたいですね。でも「イエロー・ブック」なんて見てもね、なぜあんなのが当時ワイワイ騒がれたのかと思うくらいおカタイ。本当に文章ばっかりのちゃんとした雑誌なんですよ。

多田 ヨーロッパでは少くとも戦前までは、厳格な家庭って本当にカタイんですね。どうでもいいことに親がうるさく干渉して。私、最近ジュリアン・グリンの「罪人」

神山 実は僕も、ハプロック・エリスとジョン・アディントン・シモンズの共著に「倒錯の性」という本があり、それをネタにしてホモについて書いたことがあるんです。しかし世紀末ってつくづくマイナーポエトが続出した時期だなあと感じます。文学史は単にメジャーの峰々をつないでいるだけです。世紀末の作家などは余り浮かんでこない。ジョージ・ムーアやハプロック・エリスなどはほとんど知られていないし、ジェームス・ハネカーも余り紹介されていないのは残念ですね。ハネカーは認識者として確実に芸術を捉えていますよ。

多田 私が「少年十字軍」って作品を訳したマルセル・シネオップのような小粒だが質のいい世紀末作家は日本

でも好きな人はいるみたいで
すけれど。

人類における芸術上の奇蹟は
モーツァルトだけ

神山 僕が小林秀雄が好きなのは、彼の文体に味わいがあるからなんですよ。外国語に比べて、日本語には文体の概念が定着しにくいんですが、彼のように自分の文体を持つてことは強味です。文学者はやっぱり自分の文体がつくれないとね。ポール・ヴァレリーが「文体は精神の衣裳である」と言ってますが、文体

っていうのは精神と肉体との融合なんです。でも文学って文体も大事ですが、もっと大切なのは書き手の楽しさが伝わってくるかどうか、ですよ。それとね、日本文学って女神不在の形で出発しているでしょ。だから僕は読んでいても余り面白くないんです。ただ泉鏡花だけは別ですね。鏡花を軸に日本文学組み立てたらケツサクだと思えますよ。鏡花読んだらもう他の私小説なんて吹っ

飛んじやう、発想が違いますね。
多田 そういう見方もありますね。
神山 永井路子が「厳密な意味で、真の芸術はモーツァルトの音楽のみである」と言ってるのですが、これは当たってますね。僕も芸術はモーツァルトで終わると思うんですよ。ワグナーなんて何や、いう気持ちです(笑)。なぜモーツァルトかっていうと、これはもうカントの定

言命法のようなもので、理屈の問題じゃないですよ。
多田 私も20歳の頃、モーツァルトティアンを以て自認していたんです。徹底的に好きで、もう人に語る気もしいぐらい。



世紀末談義はいつしか芸術談義に。

神山 ペイターも「あらゆる芸術は音楽を懂れる」と言ってる。もつとも彼の音楽というものはブラトンの「国家」に出てくるような内容で、モーツァルトとは無関係の概念ですが。モーツァルトは時代を越えて生き続けるが、ロマン派や印象派は時代背景がなければ滅びてしまうものです。今だにそんな音楽が演奏されるのは音楽家がバカなんです。音楽に限らず職業とするところに芸術の墮落がはじまるわけです。まあ人類における芸術上の奇蹟はモーツァルトだけでしよう

多田 本当にあれば奇蹟ですね。

神山 僕はやっぱり芸術は芸術でしかありえないと思いますね。ペイターもそう言ってるんですが、やっぱり人間なんです。そこがペイターとワイルドの違いでもあって、やはりワイルドは芸術の女神を捉えていたということになりますね。やはり芸術は一般の人間とは切り離された問題だと思っんです。その芸術は実際には人間のつくり出すものなんです。何か人間が仰ぎ見るような物のイメージがある。それにハングリーな状態から芸術が生まれるっていうのではないような気がしますね。

多田 神山さんは芸術を俗衆から離れた所に奉りたいわけですね。

神山 そう、近寄るなノって言いたい(笑)。でも僕の言ってる女神って何？と言われても、定義できないな。

多田 独断的なブラトン派なんですよ。人の世の彼方にアイデアを仰ぎたいんですよ。

神山 そうそう、アイデアがあるの(笑)。

△にしむら珈琲北野店にて▽

撮影／渡辺泰臣